

(一社) 日本道路建設業協会
沖縄支部

支部だより

平成 29 年
6月16日(金)
第 70 号

会員
だより



道路誕生のあれこれ!

道路誕生に興味を持ち、調べてみました。紀元前300年のローマ時代には、8,500 kmの石畳道路があったり、同時期にローマと中国を繋ぐシルクロードがあったり興味はつきません。イギリスでは1555年に道路法、1662年には有料道路法が制定されていたことにはびっくりしました。ちなみに、関ヶ原の戦いは1600年日本の道路では、平安京時代の朱雀大路(すざくおおじ)の道幅が84mもあったそうです。織田信長が日本で初めて一里塚(一里毎に、土を盛りあげその上に木を植えた塚)を設置したそうで、現在の距離標の先駆けと思われる、また、信長は並木道(現在の道路植栽)も造ったらしく、「凄い、信長」と思った。徳川時代には、多くの街道が作られ現在の日本の道路の礎になっていると思われる。今度は、沖縄の道路の変遷も調べてみたい。

取締役土木部長：稲 博和



会員
だより



うるま市『海中道路』の建設!

会員の皆様、こんにちは。今回は当社、國場組の施工実績の中から、沖縄県うるま市の通称『海中道路』について紹介したいと思います。

『海中道路』と、県道10号伊計平良川線は、現在、沖縄本島中部にある勝連半島から平安座島を結ぶ5.2kmで、多くの観光客が訪れる観光名所となっています。

我が社は昭和45年にアメリカの石油会社であるガルフ石油(現在、シェブロン)から、236万ドルで平安座島に建設中であった沖縄石油基地への資材搬入道路とパイプライン敷設、また島民の生活道路の建設として、本工事を受注しました。

当時の工事資料から、海上に道路二車線、延長4,000mの道路を建設し、途中、20mスパンの橋梁1基と直径2mのボックスカルバート2基、道路両側1~3トンの石張、内部下層ビーチコーラル、上層部コーラル質材料、表面5cmアスファルト・コンクリート舗装とあります。

さらに、発注者であるガルフ石油は、着手後100日間で車両通行を可能にすること、ただし、1日遅れると罰

株式会社 小波津組
代表取締役社長 小波津 英正



一里塚



一里塚



朱雀大路



朱雀大路

株式会社 國場組
執行役員専務 与那嶺 恵伸

金1,000ドル、1日短縮すると5,000ドルの賞金を出すとの条件付きの契約でした。(当時の沖縄では新車の普通自動車が約1000ドル)。

我が社は沖縄本島側から基礎工を着手し、35日目に対岸の平安座島に到達、60日目には資材運搬車両の通行を可能にさせ、ガルフ社から功労賞金をいただきました。

本工事は昭和46年5月に着工し、翌年3月竣工にしました。ここで通貨にドルが使われていることからお気づきと思いますが、日本復帰前年の工事です。

沖縄の建設業は常に時代の大きなうねりの中で生きてきました。これは今も変わりません。先人・先輩たちはその中でどのように向き合い、どのようなポリシーを持って立ち向かってきたか、今回資料に目を通すことで、この偉大さを感じることができるといい経験をさせて頂きました。



右の写真に
続く →

活動報告・トピックス



現在の海中道路(2005年)



建設中の海中道路(1970年)

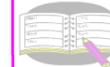
【建設営業部 真栄城 玄知】

株式会社 鏡原組
企画・広報委員 新里 哲生

南風原アーチ橋耐震補強工事!

道建協会員の皆様、こんにちは。今年2月に受注した、平成28年度南風原アーチ橋耐震補強(上下P13)工事について紹介します。

「本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事



今月の予定

- ①第39回定時総会 ザ・ナハテラス
6月8日(火)14:00~
- ②第130回道路美化・清掃活動
6月20日(火)10:00~ 前半グループ
- ③第2回安全委員会・支部会議室
6月22日(木)11:00~13:00
- ④平成29年度「舗装診断士」等試験
6月25日(日)9:30~ 沖縄大学
- ⑤第1回常任幹事会 支部会議室
6月27日(火)12:00~13:30

の始期及び終期を任意に設定できる。」と特記仕様書に記載されています。

受注時は、年度末で配置予定技術者は3月竣工に向けて他工事に従事しており、余裕期間を設け施工体制を整えることが出来るように始期を4月25日に設定する弊社で初の契約手続きとなりました。

南風原アーチ橋は、2000年の九州沖縄サミット時に開通しており、名護向けL=828m、21径間連続RCアーチ橋、空港向けL=780m 20径間連続RCアーチ橋で世界的にも珍しく、2002年に土木学会デザイン賞を受賞しています。

本工事の設計は、耐震基準の見直しにより補強するもので美しいアーチデザインを損ねないように橋脚部をコンクリート巻立て、アーチ部を炭素繊維補強、アーチ上部の鉛直材を鋼板巻立補強となっております。

施工は、地上より仮設足場を設置して行いますが最大高さ約30mの高所作業となります。作業に従事する皆さんは、昇り降りだけでも大変疲れると思いますが10月の竣工まで安全対策をしっかり行い、全員で無事故無災害を目標に頑張ってください。



写真中央部 P13橋脚
(着手前)



①第129回 道路美化・清掃活動 天気には勝てず清掃活動中止!

第129回道路美化・清掃活動は、5月13日に入った梅雨の悪天候のため中止となりました。